

学校関係者評価報告書

はくほう会医療専門学校赤穂校学校関係者評価委員会は、「令和元年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので以下のとおり報告いたします。

1. 開催日時 令和2年7月10日（金）15：30～

2. 学校関係者評価委員

学外委員

所 属	役 職	区 分
はくほう会医療専門学校明石校	副校長	教育に関する有識者
デイサービスセンターいきしま	施設長	専門分野委員
はくほう会デイサービスセンター	施設長	卒業生

本校出席者

氏 名	役 職・所 属 等
古城 資久	学校長
藤村 忠史	理学療法学科 学科長
亀山 一義	作業療法学科 学科長

3. 学校関係者委員による評価及び意見

① 教育理念・教育目的

教育理念及び教育目標、卒業時点で到達すべき資質等は適切に設定できている。学生便覧へ掲載されており、学習の指針となっている。教育内容については履修が必要な科目を学生便覧に掲載することで学生へ周知できている。教育環境について記載がないが、卒業生としての意見では十分に環境が整っている。

② 教育目標

教育目標は、教育理念・教育目的と一貫しており、教育活動の到達目標を明記し、日々の指導に生かされている。

③ 教育課程経営

教育課程経営は自己評価も良いことから、目標から教育活動・実習での学びの保障は一貫性があると言える。

国家資格の合格率も高い水準で推移しており教育内容も充実していることがうかがえる。

④ 教授・学習・評価過程

概ね問題はない。

⑤ 経営・管理過程

組織体制や財政基盤については概ね問題ない。設備については開校より15年経過したことによる摩耗や型落ち等の問題があるため、今後入れ替え等の検討が必要である。

⑥ 入学

18歳人口の減少・大学全入時代を迎え厳しい状況の中ではあるが、教育内容の充実のみならず、定員数の確保に向けた高校へのアプローチ、進学説明会への参加等、募集活動の尽力が必要である。

⑦ 卒業・就職・進学

卒業時に就職状況の把握に努めているが、追跡調査等を実施しておらず、その体制も整っていないため、統計的处理も含めて今後検討が必要である。それ以外は概ね問題ない。

⑧ 地域社会・国際交流

地域のニーズを把握した健康教室や公開講座の開催、ボランティア活動は高く評価できる。今後も継続を期待したい。

国際交流については、国際的視野を広げるための自己学習等、今後の課題である。

⑨ 研究

研究活動を保障する環境や体制はありと評価できる。

その他

特記事項なし。

総合評価

学生と教職員の距離が程よく、常に相談報告できる体制があり、学生一人一人が目標をもって学生生活を送れるよう、また就労後も社会に貢献できるよう支援を継続して行ってほしい。また教育の質を高めること教員の資質向上を図ることで、退学者の低減を図れるよう引き続き尽力いただきたい。

教育理念である思いやりの心と確かな技術を身に付けた社会が求める人材を育成する専門学校としての使命を果たしていかれることを期待する。